

1 使い方

要するに著者は特に気にせず通常通り `\cite{aaa,bbb}` と入力すれば OK です。

ここでは参考文献リストの動作を確認します。学会のテンプレートで参照されている文献 [1, 2, 3, 4, 5, 6] は、左記のように表示されますが、学会のテンプレート側で上付きの ^{1), 2)} といった処理がされます。^{1), 2)} や ^{1~6)} といった表記も学会のテンプレート側でやってもらえます。

2 注意点

2.1 upbibtex を使ってください

bibtexu を使うとカンマやピリオド、スペースなどの処理が upbibtex と違うようで出力が乱れます。upbibtex をお使いください。

ちなみに、SICE 会誌本体の tex ファイルは

- `\documentclass[uplatex]{jsice}` として uplatex でコンパイル
- latex で (“u” のないコマンドで) コンパイル

の双方でコンパイルが通りました。

2.2 日本名の記述の流儀にあわせて、設定を変更してください

オリジナルの jecon.bst から継承している設定項目です。

1. bib ファイルで `author = {姓, 名}` あるいは `{名 姓}` と記入している (つまり英語名と同じルールで記入している) 著者: 特に設定は必要ありません。
2. bib ファイルで `author = {姓 名}` あるいは `{名, 姓}` と記入している著者: bst ファイルの `FUNCTION {bst.sei.mei.order}` の箇所を修正してください。bib ファイル自体の修正は必要ありません。

2.3 bib ファイルでのページ数の記入の流儀にあわせて、設定を変更してください

SICE の雑誌に合わせて “aaa/bbb” といった形式にする処理を行っています。このため、

1. bib ファイルで `pages = {aaa--bbb}` とダッシュ 2 回で記入している著者: 特に設定は必要ありません。
2. bib ファイルで `pages = {aaa-bbb}` とダッシュ 1 回で記入している著者: `FUNCTION {bst.slashfysingledash}` の箇所

を修正してください。bib ファイル自体の修正は必要ありません。

3. bib ファイルで `pages = {aaa - bbb}` や `pages = {aaa -- bbb}` と空白を入れて記入している著者: スペースを取る処理は現状 bst ファイルにはありませんので、
 - bib ファイルを修正する
 - 吐き出された bbl ファイルを手動で修正するなどで修正をご検討ください。

参考文献

- [1] A. S. Morse: Global Stability of Parameter-Adaptive Control Systems, *IEEE Trans. Automatic Control*, **25**-3, 433/439 (1980)
- [2] 豊田, 谷村: 微細形状のナノメートル計測技術, 計測と制御, **25**-5, 417/420 (1986)
- [3] W. N. Woaham: *Linear Multivariable Control: A Geometric Approach*, Springer-Verlag (1974)
- [4] 高橋安人: コンピュータによるダイナミックシステム論, 科学技術社 (1970)
- [5] 鈴木 篁: 銅製錬, 科学便覧 (日本化学会編), 1501/1506, 丸善 (1958)
- [6] N. Handel: Magnetic Flowmeters, *Process Instruments and Controls Handbook* (D. M. Considine, ed.), 4-45/4-48, McGraw-Hill (1974)